

令和2年度 学科AO入試 総合考査 問題用紙【スポーツマネジメント学科】

試験時間：60分

.....
日本オリンピック委員会は、2020年東京オリンピック競技大会において、金メダル獲得世界ランキング3位を目標としています。日本代表選手団の国際競技力について、以下の問に答えなさい。

問1. 資料1・2・3・4から、2016年リオデジャネイロオリンピック競技大会終了時の日本代表選手団の国際競技力の現状と課題について分析しなさい。

問2. 日本オリンピック委員会の2020年東京オリンピック競技大会におけるメダル獲得目標を達成するためにはどのような方策が必要か、あなたの考えを述べなさい。

<資料1>オリンピック競技大会におけるメダル獲得状況（夏季）

開催年	開催都市(国)	メダル獲得数				金メダル	
		金	銀	銅	計	獲得率	順位
1964	東京(日本)	16	5	8	29	9.8%	3
1976	モントリオール(カナダ)	9	6	10	25	4.5%	5
1988	ソウル(韓国)	4	3	7	14	1.7%	14
1992	バルセロナ(スペイン)	3	8	11	22	1.2%	17
1996	アトランタ(米国)	3	6	5	14	1.1%	23
2000	シドニー(オーストラリア)	5	8	5	18	1.7%	15
2004	アテネ(ギリシャ)	16	9	12	37	5.3%	5
2008	北京(中国)	9	6	10	25	3.0%	8
2012	ロンドン(英国)	7	14	17	38	2.3%	11
2016	リオデジャネイロ(ブラジル)	12	8	21	41	3.9%	6

* 出典：国際オリンピック委員会ホームページより作成。

<資料2>リオデジャネイロオリンピック競技大会 金メダル世界ランキング

順位	国・地域	金	銀	銅	合計
1	米国	46	37	38	121
2	英国	27	23	17	67
3	中国	26	18	26	70
4	ロシア	19	18	19	56
5	ドイツ	17	10	15	42
6	日本	12	8	21	41
7	フランス	10	18	14	42
8	韓国	9	3	9	21
9	イタリア	8	12	8	28
10	豪州	8	11	10	29

* 出典：国際オリンピック委員会ホームページより作成。

<資料 3>【オリンピック】2012 ロンドン大会と 2016 リオ大会の日本メダル獲得競技比較

メダル区分	2012ロンドン大会	2016リオ大会
金	7 (11位)	12 (6位)
	レスリング(4) 柔道(1) 体操(1) ボクシング(1)	レスリング(4) 柔道(3) 水泳/競泳(2) 体操(2) バドミントン(1)
銀	14	8
	柔道(3) バドミントン(1) 水泳/競泳(3) アーチェリー(1) 体操(2) サッカー(1) ウエイトリフティング(1) フェンシング(1) 卓球(1)	レスリング(3) 水泳/競泳(2) 柔道(1) 卓球(1) 陸上(1)
銅	17	21
	水泳/競泳(8) バレーボール(1) 柔道(3) ボクシング(1) レスリング(2) 陸上(1) アーチェリー(1)	柔道(8) 体操(1) 水泳/競泳(3) バドミントン(1) 卓球(2) 陸上(1) 水泳/シンクロ(2) カヌー(1) ウエイトリフティング(1) テニス(1)
メダル獲得競技	13競技	10競技
計	38 (6位)	41 (7位)

※赤字:2012 ロンドン大会と比較し、2016 リオ大会でメダルを獲得できなかった競技。

※青字:2012 ロンドン大会と比較し、2016 リオ大会で新たにメダルを獲得した競技。

* 出典:競技強化のための今後の支援方策(スポーツ庁)

<資料 4>3 大会連続メダル獲得競技 (オリンピック) ~北京・ロンドン・リオ~

競技数	国名	3大会連続金メダル獲得競技	金メダル数	3大会連続メダル獲得競技(総メダル)	総メダル数
9 (14)	アメリカ	水泳、陸上競技、体操、バスケットボール 射撃、テニス、レスリング、ボート、自転車	114	水泳、陸上競技、体操、自転車、射撃、フェンシング バレーボール、レスリング、テニス、ボート、テコンドー バスケットボール、ボクシング、柔道	315
6 (15)	中国	水泳、ウエイトリフティング、卓球、バドミントン 射撃、テコンドー	79	水泳、体操、ウエイトリフティング、射撃、卓球、バドミントン 陸上競技、ボクシング、柔道、テコンドー、フェンシング レスリング、自転車、ボート、セーリング	247
6 (10)	イギリス	自転車、ボート、陸上競技、セーリング ボクシング、カヌー	55	自転車、ボート、水泳、陸上競技、セーリング、体操、ボクシング カヌー、馬術、テコンドー	160
4 (9)	ロシア	レスリング、水泳、体操、ボクシング	34	レスリング、体操、水泳、ボクシング、フェンシング 射撃、自転車、カヌー、テニス	139
3 (10)	ドイツ	カヌー、馬術、自転車	20	カヌー、馬術、陸上競技、自転車、ボート、体操、水泳、柔道 卓球、ホッケー	98
3 (7)	韓国	アーチェリー、テコンドー、射撃	21	アーチェリー、テコンドー、柔道、フェンシング、射撃 バドミントン、レスリング	61
2 (6)	オーストラリア	水泳、セーリング	17	水泳、ボート、セーリング、自転車、陸上競技、カヌー	95
2 (6)	イタリア	フェンシング、射撃	13	フェンシング、射撃、水泳、柔道、ボート、自転車	57
2 (5)	日本	レスリング、柔道	18	柔道、水泳、レスリング、体操、陸上競技	83
2 (3)	ハンガリー	カヌー、水泳	14	水泳、カヌー、フェンシング	33
0 (10)	フランス		0	柔道、水泳、陸上競技、自転車、カヌー、セーリング ボート、射撃、テコンドー、ハンドボール	86

※日本スポーツ振興センター提供データより作成。

※競技(下線付き)は、日本の金メダル獲得競技、総メダル獲得競技。

※競技数は金メダル獲得競技数、()内の数は総メダル獲得競技数。

* 出典:競技強化のための今後の支援方策(スポーツ庁)